

編集後記

今月号の特集テーマは「障害者の工学的リハビリテーション」である。私は工学と付き合い始めて少なくとも20年は経つが、いまだに工学の正体のはっきり分かったという感じがしない。エンジニアの方々には申しわけないが、何か適当な言葉を持ってきて、その後ろに「工学」の2文字を付ければ工学の一分野ができてしまうような気がする。例えば、「排尿工学」、「発汗工学」、「嚥下工学」などは、リハビリテーションの分野では考えてみてもよいような言葉である。

さて、そのようにリハビリテーション医療では工学の恩恵を大きく受けてきたが、この関係は今後も続くことであろう。障害者が対象のリハビリテーション医療では、当然、工学が障害者の能力や社会的不利の改善につながるような、あるいは機能改善につながるような工夫がいろいろなされてきたが、スポーツなど障害者のQOLを考えた工夫も同時になされていることは大変喜ばしいことである。

しかし、この特集では、特別に意図したわけではないが、ハードウェアのみを取り上げる結果になってしまった。この点は、本号の編集を担当した者としては心苦しいかぎりであるが、このテーマは今後もたび

たび取り上げられることと思うので、そのときには是非再考したいと思っている。

さて、本号では5編の特集テーマが含まれている。野田氏の機能訓練機器に関する開発のレビュー、初山氏の補装具に関するトピックス、古賀氏の生活環境改善についての試み、田中氏のスキーを中心とした障害者スポーツ機器、市川氏の移動システムなど、いずれも新しい情報で満たされており、必ずや読者諸兄のお役に立つものと考えている。

投稿論文は3篇掲載されている。「研究と報告」は前島氏らの失語と高次動作性障害との関連に関する研究であり、大変興味深い内容である。また、豊倉氏の「症例報告」、飯盛氏の「短報」も非常に面白い。掲載までに少し時間がかかっているが、より充実した内容とするために、手直しや書き直しをお願いするケースが多々あるためもある。早急に掲載できるよう編集者一同努力しており、今後も皆様からのご投稿をお待ちしたい。

末筆となったが、時候の変わり目でもあり、これからは寒さも一段と厳しさを増してこよう。読者の皆様の御自愛をお祈りするしだいである。

(明石 謙)

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
河 邨 文 一 郎
五 味 重 春
津 山 直 一
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏 甫
緒 方 淑 雄
大 井 嗣 雄
大 千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

今 田 拓
江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
荻 島 秀 男
奥 川 幸 子
加 倉 井 周 一
小 島 蓉 子
斉 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 橋 勇
高 松 鶴 吉
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
土 肥 信 之
土 肥 豊
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 歡
初 山 泰 弘
福 井 罔 彦
福 田 道 隆
松 村 秩
三 島 博 信
村 上 恵 一
矢 谷 令 三
米 本 恭 三
渡 辺 英 夫
(五十音順)

総合リハビリテーション (第18巻 第11号)

1990年11月10日発行 (毎月1回10日発行)

1部定価 1,803円 (本体1,750円)
(配送料61円)

(年ぎめ予約購読料 20,640円)
(本体20,039円)(送料弊社負担)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 社内案内 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5704

(担当: 佐々木・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 三報社印刷(株): 電話 (03) 637-0005

広告申込所 (株)東広社: 電話 (03) 409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1990, Printed in Japan.
本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。